

# 2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学短期大学部

開講学科	保育科
------	-----

履修者数	908
------	-----

回答者数	645
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	399	246	0	0	0
	61.9	38.1	0.0	0.0	0.0

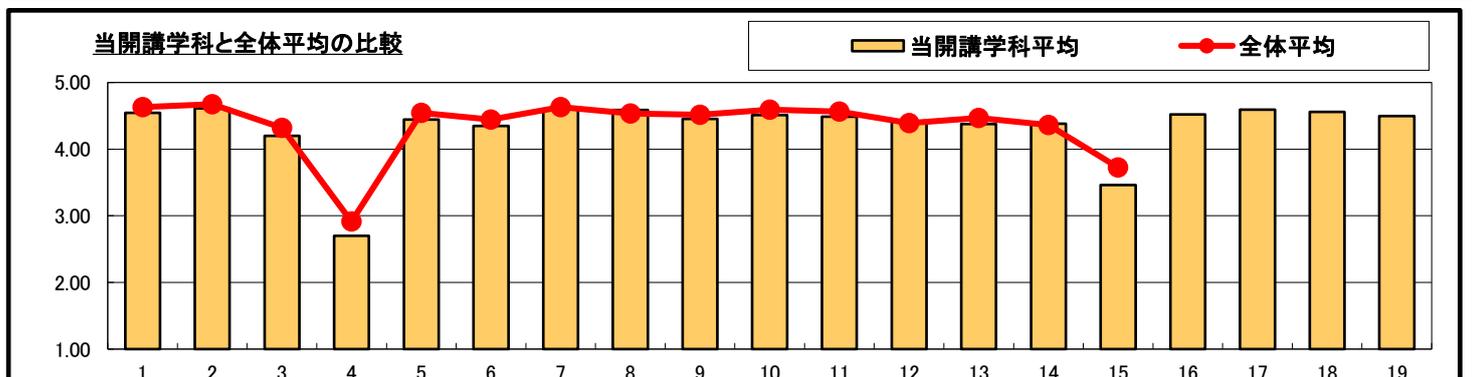
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.55	381 59.3	233 36.3	25 3.9	3 0.5	0 0.0	642	3
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.61	426 66.5	184 28.7	28 4.4	3 0.5	0 0.0	641	4
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.20	279 43.5	248 38.6	85 13.2	25 3.9	5 0.8	642	3

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.70	2時間以上 63 9.9	1時間以上 2時間未満 85 13.3	30分以上 1時間未満 192 30.1	30分未満 192 30.1	全くして いない 105 16.5	637	8
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.44	358 56.0	214 33.5	60 9.4	6 0.9	1 0.2	639	6
6	この科目の難易度は適切であった	4.35	332 51.7	222 34.6	69 10.7	17 2.6	2 0.3	642	3
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.60	423 65.9	189 29.4	25 3.9	4 0.6	1 0.2	642	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.59	414 64.9	194 30.4	24 3.8	3 0.5	3 0.5	638	7
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.46	374 58.7	195 30.6	55 8.6	10 1.6	3 0.5	637	8

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.51	391 61.0	199 31.0	41 6.4	8 1.2	2 0.3	641	4
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.49	371 58.0	220 34.4	39 6.1	9 1.4	1 0.2	640	5
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.41	358 55.9	210 32.8	52 8.1	18 2.8	2 0.3	640	5
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.38	345 53.7	218 34.0	60 9.3	15 2.3	4 0.6	642	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.38	346 54.5	208 32.8	63 9.9	12 1.9	6 0.9	635	10
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.46	十分に 読んだ 142 22.2	よく読んだ 206 32.2	どちらとも いえない 139 21.8	ほとんど 読まなかった 108 16.9	全く読んで いない 44 6.9	639	6

▼学科設問									
16	私は、この授業を通して、保育の理論について理解を深めることができた	4.52	386 60.2	209 32.6	41 6.4	4 0.6	1 0.2	641	4
17	私は、この授業を通して、保育に必要な感性を高めることができた	4.59	409 63.9	202 31.6	27 4.2	2 0.3	0 0.0	640	5
18	私は、この授業を通して、保育に役立つスキルを身につけることができた	4.56	396 62.0	204 31.9	38 5.9	1 0.2	0 0.0	639	6
19	総合的に見て、私はこの授業に満足している	4.49	378 59.2	211 33.0	41 6.4	6 0.9	3 0.5	639	6



## 2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	短期大学部保育科
講評者	保育科長 遠藤知里

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境のハード面（教室環境）、ソフト面（クラスサイズやグループサイズ）の適切性についての学生からの評価は高く、授業の効果に繋がっていると感じられた。しかし、「学生の熱意」については、他の設問よりもネガティブ回答（あまりそう思わない、全くそう思わない）が目立ち、一部の学生の態度が学修環境の雰囲気に影響した印象がある。教員には、特に低学力層の学生の理解度を授業進行の中で良く把握し、学生が学びの手応えを感じられるような授業づくりの工夫を求めている。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	全ての科目において授業時間外学修が求められているはずであるが、「全くしていない」という回答がやや多く感じられた。短大保育科の場合、履修すべき科目数が多いために、科目それぞれに授業外学修時間を十分に確保するのが非常に難しいが、科目横断的な授業時間外学修を勧めるようにしていきたい。例えば、保育や福祉に関する関連図書を読み進める、教材研究に日常的に取り組む、などが考えられる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 10～14 については、授業担当教員の努力が十分に反映された結果と感じられる。しかし、設問 15「この授業のシラバスを読みましたか」の点数が低いことは問題である。なぜなら、シラバスを読まずに授業に参加するということは、授業の目的やねらいを理解せずに授業に参加していると考えられるからである。一方で、授業担当者は、毎回の授業で目的やねらいを学生に明確に示すことができているだろうか。シラバス（WEB 上のシラバスではなく、あくまでもその授業全体の授業計画という意味である）を意識した授業とは、各回の目的やねらいを明確にした授業と言い換えることもできる。従って、この問題は学生だけの問題ではなく、教員の側からも考えていくべき課題である。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	保育についての、理論的理解の深化、感性向上、スキル向上、満足度の各項目において、概ね 4.5 点の高得点となっている。学生の目的意識の高さに応える授業となっていることが読み取れる。今後も、そのような授業づくりを継続できると良い。